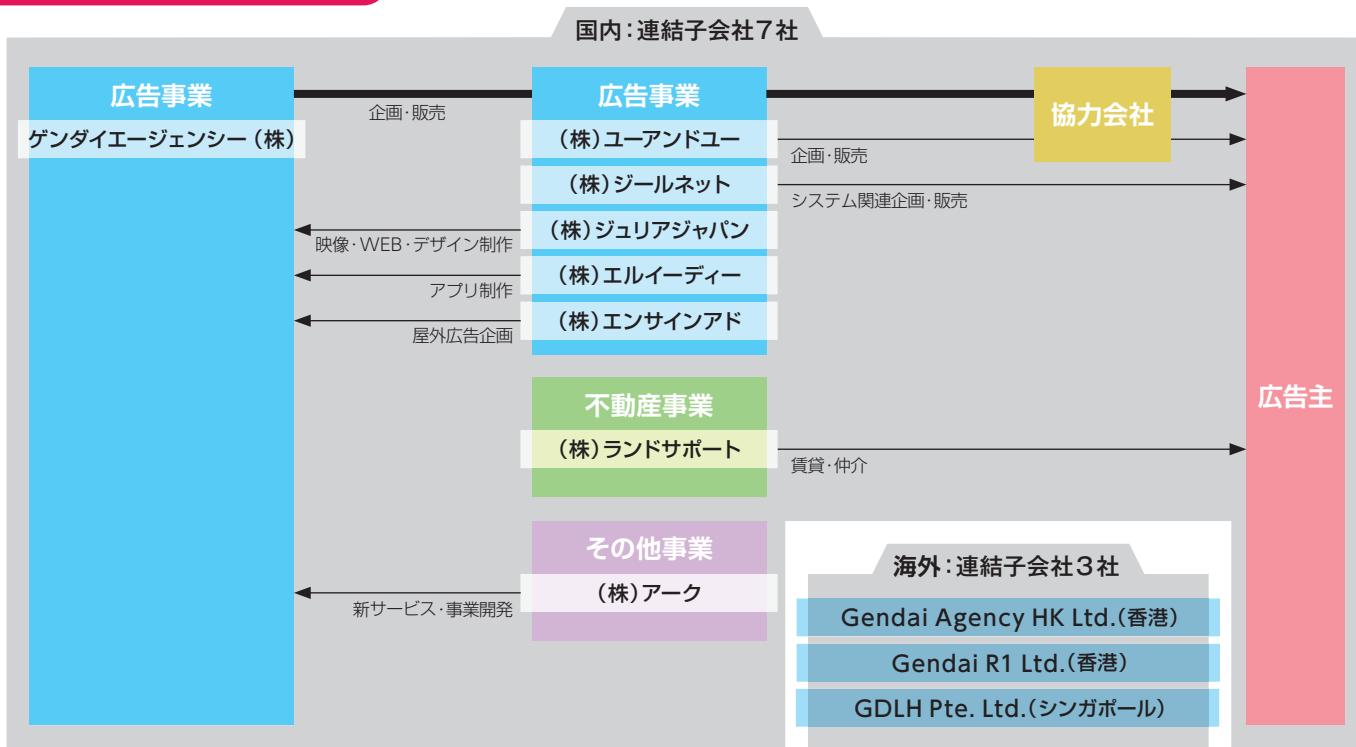


株主通信

2018年3月期 第2四半期

2017年4月1日～9月30日

ゲンダイエージェンシー株式会社



1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株)ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株)ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株)ジールネット

広告システム等の企画制作

(株)エルイーディー

スマートフォンアプリ等の企画開発

(株)エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売

2. 不動産事業

(株)ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

3. その他事業

(株)アーク

新サービス、新事業の調査開発

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、2018年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用状況や所得の改善が進んでおり、穏やかな景気回復が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。また、昨今の依存対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、先行きに不安を感じるホール企業は増加傾向にあり、業界全体の新規出店、店舗リニューアルや新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業の拡大に注力し、収益の底上げを図ってまいりました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,878百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は430百万円（同31.5%減）、経常利益は449百万円（同24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は312百万円（同21.4%減）となりました。以上の経営成績をふまえ、1株当たりの年間配当金は25円とし、中間配当金1株当たり12円のお支払い開始日は2017年12月4日(月)とさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

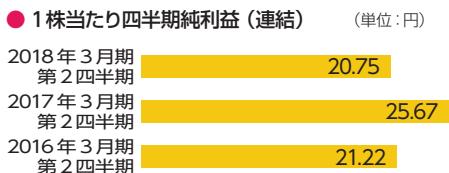
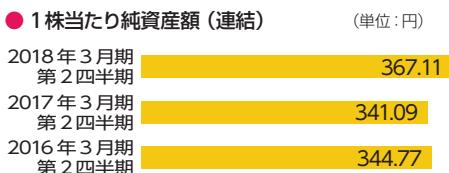
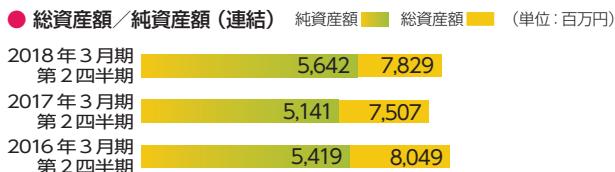
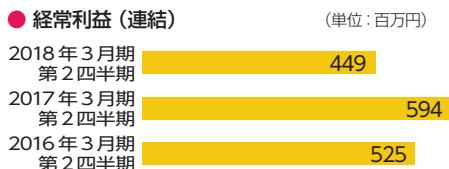
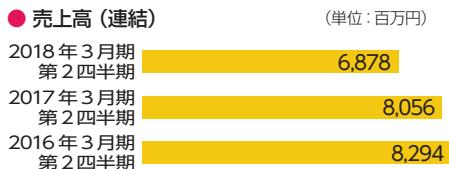
2017年12月

広告事業

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告予算の削減が続いたことに加え、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況にありました。さらに、新規出店意欲の減退による新規出店の極端な減少に比例して、大型の新規出店告知需要は減少いたしました。また品目別に見ると、これまでパチンコホール広告



右： 代表取締役 CEO 山本 正卓
左： 代表取締役 COO 上川名 弦



の主力であった折込広告をはじめとする紙媒体広告の需要縮小が急激に進んでおります。

こうした環境下において、当社グループでは、従来の紙媒体広告からインターネット広告への段階的なシフトによる収益構造の転換を図るべく、自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販や、異業種向けプリンティング事業の営業化を推進してまいりました。また、コスト面においては、受注プロセスの抜本的な見直しによる合理化、省力化を進めることで、固定費の抑制に注力いたしました。

これらの取組みは一定の効果を挙げたものの、急激な需要の減少の影響を相殺するには至らず、売上高は6,803百万円(前年同期比14.4%減)、セグメント利益は、638百万円(同17.7%減)となりました。

不動産事業

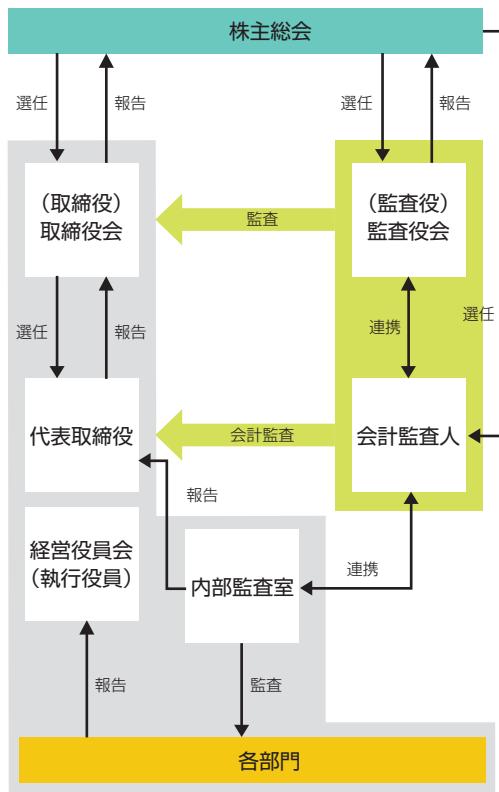
当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートにおいて、2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、賃貸物件仲介案件(11百万円)を成約いたしました。

なお、不動産事業セグメント損益については、前期末における神戸市の土地賃貸物件売却の影響により、売上高は36百万円(前年同期比50.0%減)、セグメント利益は17百万円(同49.5%減)となりました。

その他

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社Gendai R1 Ltd.における香港飲食事業に加えて、当社においてストレージ事業のテストを行っております。また前期末に、東南アジアにおけるカジノ運営事業への参入を目的として設立したシンガポール連結子会社GDLH Pte.Ltd.においては、2017年6月より同社カンボジア支店の営業を正式開始し、カンボジア・パイリン地区におけるスロットマシンオペレーション業務を受託しております。その結果、売上高は38百万円(前年同期比4.0%減)、セグメント損失は、主としてカジノ運営事業における初期投資負担の影響等により45百万円(前年同期は6百万円の損失)となりました。

コーポレート・ガバナンス、配当政策



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性(コンプライアンス)と透明性(ディスクロージャー)を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上、開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的で開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

配当政策

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させつつも、同時にこれまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施することにより、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。また、目標配当性向については、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%(連結ベース)を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングにおいて自己株式の取得を実施してまいります。



QRコード

広告事業の収益構造の転換

広告業を基本軸に、パチンコホール分野とそれ以外の分野に向けて、インターネットを活用した様々なサービスを提供し、収益構造の転換に取り組んでいます。

現在、注力している3つのサービスをご紹介します。

● 自社開発メディア「パチ7」

2014年8月7日にサイト開設以来、多くのユーザーにご支援いただき、月間300万PVを超えるサイトに成長いたしました。業界の活性化を目的に、ユーザーに有益な情報を早く、分かりやすく、面白く提供するパチンコ・パチスロのポータルサイトです。20～30代の若年層がユーザーの約7割を占めています。

URL: <http://pachiseven.jp/>



● パチンコホール向けDSP広告「Pachi Ad(パチアド)」

パチ7を訪問したユーザーの行動履歴をビッグデータとして管理し、広告配信すると同時に、パチ7ユーザーと類似行動パターンを示すパチンコユーザーにも配信する、パチンコ業界に特化したDSP広告です。

※ DSPとは…Demand-Side Platform(デマンド・サイド・プラットフォーム)の略称。広告主側が使用する、広告配信ツールとその周辺のこと。サイト訪問ユーザーのデータを蓄積し、より効果的なweb広告を可能にします。



● デザイン受託サイト「アドラク！」

業種を問わず、どなたでもお使いいただけるデザインポータルサイトです。個人事業主やデザイナーのニーズにお応えする、オリジナルのデザイン制作・販売を行っています。

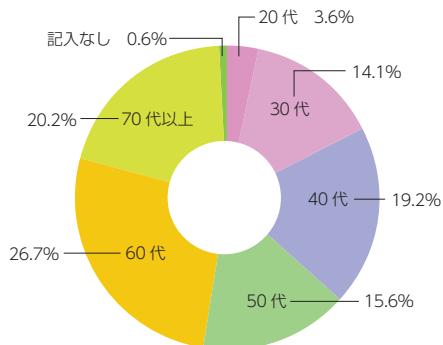
URL: <https://adluckdesign.com/>



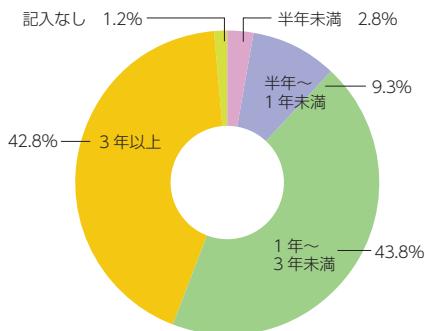
アンケート結果のご報告

回答者属性

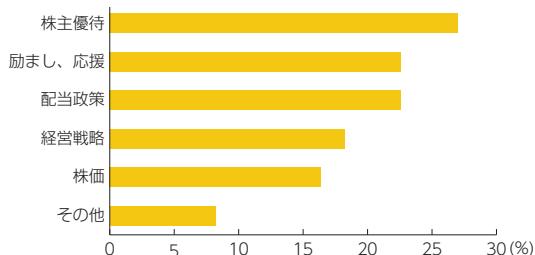
年代



保有期間



ご意見・ご要望の傾向(フリーコメント)



2017年3月期 株主通信アンケートより

当社では、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の2017年3月期株主通信でお願いいたしました株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考にさせていただきます。

今後も、株主の皆様のご意見、ご要望を頂戴し、アンケートを実施してまいりますので、その際はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

主なご意見・ご要望(フリーコメント)

- パチンコ好きです。楽しい娯楽だと思います。今後は広告主を拡大していただきたいし、同時に新たな挑戦を望みます!
- 会社の業務内容や計画、将来の構想をPR等でもっと発信しても良いと思います
- 御社の株式は長期に所持する意向で購入しました。目先の株価等にこだわらず、将来的に大きな収益を得られる体質になるよう、経営をお願いします
- パチンコ業界はこれからも厳しい状況がつづくと思いますが、財務の良さを生かしてM&Aや他社との合併なども視野に入れ、規模を拡大していくことも必要と考えます
- パチンコホール広告市場の拡大がなかなか見通せない中、事業領域の拡大に取り組まれているとのこと。難しいとは思いますがぜひがんばってください

今後も、皆様からいただいたご意見を活かしながら、より良い会社経営に取り組んでまいります。

第2四半期財務諸表

① 資産合計<

主に配当、納税や連結子会社における固定資産取得などにより現金及び預金が424百万円減少した他、取引高の減少により、売上債権が125百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して501百万円減少の7,829百万円となりました。

② 負債合計<

主に短期および長期の借入金合計が返済により420百万円減少した他、取引高の減少により仕入債務が206百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して707百万円減少の2,186百万円となりました。

③ 純資産合計<

親会社株主に帰属する四半期純利益312百万円を計上したことに加え、非支配株主による連結子会社の増資112百万円があった一方で、利益配当195百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して205百万円増加の5,642百万円となりました。

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日現在)	前連結会計年度 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,971	6,760
現金及び預金	3,949	4,374
受取手形及び売掛金	1,744	1,870
有価証券	150	290
繰延税金資産	12	17
その他	114	209
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	1,857	1,570
有形固定資産	868	681
無形固定資産	96	107
投資その他の資産	893	781
① 資産合計	7,829	8,330
負債の部		
流動負債	1,513	2,100
支払手形及び買掛金	925	1,132
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	240	240
未払法人税等	136	239
その他	211	188
固定負債	673	793
長期借入金	640	760
資産除去債務	8	8
その他	24	24
② 負債合計	2,186	2,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,689	3,572
株主資本合計	5,504	5,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	17
為替換算調整勘定	14	23
その他の包括利益累計額合計	20	40
非支配株主持分	117	9
純資産合計	5,642	5,436
③ 負債純資産合計	7,829	8,330

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
4 売上高	6,878	8,056
売上原価	5,280	6,217
売上総利益	1,598	1,839
販売費及び一般管理費	1,167	1,210
4 営業利益	430	628
営業外収益	21	7
営業外費用	3	41
経常利益	449	594
税金等調整前四半期純利益	449	594
法人税、住民税及び事業税	160	191
法人税等調整額	△ 19	4
法人税等合計	140	196
四半期純利益	308	397
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 3	0
4 親会社株主に帰属する四半期純利益	312	397

4 売上高・営業利益・四半期純利益

当社グループでは、主力の広告事業においてインターネットメディアの積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業に注力し、収益の底上げを図ってきました。また、併行して固定費の抑制にも取り組みました。その結果、売上高は前年同期と比較し14.6%減少の6,878百万円、営業利益は同31.5%減少の430百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同21.4%減少の312百万円となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益449百万円を計上した他、売上債権の減少116百万円と仕入債務の減少206百万円があった一方で、前期決算に係る法人税等の納付額242百万円があったことなどにより、270百万円の収入(前年同期は643百万円の収入)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主としてカジノ運営事業の開始に伴うスロットマシンなどの固定資産

第2四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	308	397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 10	△ 8
為替換算調整勘定	△ 8	△ 15
その他の包括利益合計	△ 19	△ 23
四半期包括利益	289	373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292	373
非支配株主に係る四半期包括利益	△ 3	0

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	270	643
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201	△ 126
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 503	△ 700
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△ 42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 425	△ 225
現金及び現金同等物の期首残高	4,368	3,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,943	3,287

取得による支出など232百万円があった一方で、投資有価証券の取得による支出153百万円、投資有価証券の償還・売却による収入190百万円があったことなどにより、201百万円の支出(前年同期は126百万円の支出)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期および長期借入金の返済による支出が合計で420百万円あったことその他、前期決算に係る期末配当金の支払195百万円があった一方で、連結子会社の増資による非支配株主からの払込みによる収入112百万円があったことなどにより503百万円の支出(前年同期は700百万円の支出)となりました。



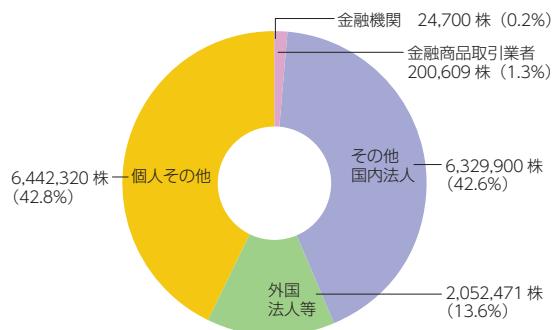
株式の状況

< 2017年9月30日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,050,000株
 株主数 5,681人

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,244,000	34.8
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行	850,000	5.6
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.2
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.5
5 梅田 美智子	362,900	2.4
6 山本 正卓	322,400	2.1
7 完山 敏錫	320,000	2.1
8 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	270,785	1.8
9 翟 林瑜	184,900	1.2
10 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	151,800	1.0



会社概要

<2017年9月30日現在>

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル29F TEL: 03-5308-9888(代)
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,050,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社、クリエイティブ本部 ●全国16営業拠点 (札幌、仙台、東京、宇都宮、さいたま、横浜、松本、名古屋、静岡、大阪、神戸、広島、岡山、松山、福岡、鹿児島)
連結子会社	(株)ランドサポート / (株)ユーアンドユー / (株)ジュリアジャパン / (株)ジールネット / (株)エルイーディー / (株)エンサインアド / (株)アーク / Gendai Agency HK Ltd. / Gendai R1 Ltd. / GDLH Pte.Ltd.

役員一覧

<2017年6月29日現在>

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO兼CCO	上川名 弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役	木藤 友治
取締役	坂本 哲進
取締役(社外)	上 岳史
取締役(社外)	松崎 みさ
常勤監査役	安達 吉明
監査役	寺田 公規
監査役	東 徹
監査役	高野 健二

IR情報は当社のウェブサイトでもご覧いただけます



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日
		期末配当金 3月31日
		中間配当金 9月30日

一単元の株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務拠点 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
☎ 0120-232-711

(同送付先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 (株)東京証券取引所JASDAQ市場

公告方法 電子公告
ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.gendai-a.co.jp/>

- (ご注意)
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.gendai-a.co.jp/>

ゲンダイエージェンシー株式会社

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)

